

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0288
 評価年度 令和 3年度
 所属 2102
 事務事業番号 04167

進捗区分 評価完了
 選挙管理委員会事務局
 衆議院議員総選挙及び最高裁判所国民審査費

所属長名 小林 秀行
 記入者 横山 輝弘

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	099	その他				
基本政策	099	その他				
施策	099	その他				
取組の方向性	099	その他				
事務事業	060	衆議院議員総選挙及び最高裁判所国民審査費				
新規継続区分	新規					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等						
事業概要	令和3年10月31日衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の管理執行					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	新型コロナウイルス感染症状況下における選挙					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の有権者
目的(何のために)	衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の管理執行
手段(どのようなやり方で)	期日前投票所の設置、当日投票所の設置、投票事務、開票事務
成果(どのような状態にするのか)	公正な選挙活動が行われ、衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査が公正かつ適正に執行される

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	0	167,907	0	0	0	0	0
事業費	0	138,191	0	0	0	0	0
国庫支出金	0	135,751	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	2,440	0	0	0	0	0
人件費計	0	29,716	0	0	0	0	0
事務・技術(人)	0.00	2.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	2.36	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0288
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 2102 選挙管理委員会事務局
 事務事業番号 04167 衆議院議員総選挙及び最高裁判所国民審査費

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-20-65-32-00-01-00	衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費	選挙管理委員会事務局

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
期日前投票所数	数	0.00	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
投票所の混雑状況	数	0.00	129.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	129.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	適正な選挙執行ができたため		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	公正かつ適正に執行できた		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	選挙の執行に対し適正な費用で実施した		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	解散による選挙で日程が定まらない中で選挙の管理執行ができた		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	新型コロナウイルス感染症がまん延する状況下における初めての選挙であったが、選挙人が安心して投票できるよう事務従事者向けに感染症対策ガイドラインを作成し、アルコール消毒液等の物品を配置した。さらに、選挙人が密にならず分散して投票できるよう期日前投票所を1箇所増設するほか、期日前投票所及び当日投票所の混雑状況についてホームページで市民に状況を伝えるなど、感染症対策に取り組んで実施することで事前の計画どおり適正な選挙の管理執行ができた。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査については、突如の解散による選挙の執行が余儀なくされることが多いが、今回は任期満了日が迫った中での執行であったため、期日前投票所の増設をはじめ、新型コロナウイルス感染症対策など、計画的に準備が進められ、適正な管理執行を行うことができた。 今後、衆議院議員総選挙の執行が想定される時期には、国会の動向を注視し、速やかな事前準備に務めていきたい。		

